

大船渡発

碁石海岸 防災機能持つ観光拠点に

三陸有数の景勝地、大船渡市の碁石海岸が防災機能を持った観光拠点として生まれ変わります。19日、その整備事業の起工式が行われ、関係者が工事の安全を祈りました。環境省が6億円を投じて行う碁石海岸の再整備は、雄大な自然を生かした観光の拠点づくりとともに、防災機能の強化が目的となっています。起伏があったキャンプ場は平にしてバリアフリー化を図り、避難場所として活用できるようにするほか、岸壁に波が打ちつける名所、「乱曝谷」に見学しやすい展望台を建設します。また観光案内所を兼ねた管理棟など3棟の建物を整備し、木質バイオマスのボイラーや自家発電機も導入します。碁石海岸の再整備は年度内に完了する予定です。(7/19)



大船渡発

夏の訪れ告げるサバ水揚げ

大船渡には夏の訪れを告げるサバが水揚げされ、浜は活気づきました。サバは黒潮に乗って北上しこの時期、三陸沖の定置網にかかります。サバの水揚げは先週から始まっていて、大船渡魚市場にはけさ、ゴマサバおよそ40トンのほかカツオやスルメイカなどが水揚げされました。サバの大きさは25センチから30センチほど。例年よりやや高めのキロ80円から90円で取引されました。サバ漁はこれから本格化し、秋まで水揚げが続きます。(7/23)



宮古発

新規整備区間初のトンネル工事

宮古市の田老地区で三陸沿岸道路のトンネル工事が始まりました。震災後整備が決まった区間で初めてのトンネル工事です。トンネル延長は294メートル、事業費は12億4500万円となっています。三陸沿岸道路の新規整備区間では初めてのトンネル工事となります。宮古市の山本市長は「三陸が復興に向けて加速するために必要不可欠」と述べ、市としても道路の整備に協力していくことを約束しました。三陸沿岸道路は今後10年ほどを目標に全線開通する予定です。(7/23)



釜石発

ラベンダー畑が見ごろに

釜石市の郊外に知る人ぞ知るラベンダー畑があります。そのラベンダーが見ごろを迎え、青紫色の花と癒しの香りが訪れる人を楽しませていました。「ラベンダーファームおざわ」は釜石市唐丹町の小澤孝行さんが、地域ににぎわいを生み出そうと、15年ほど前から個人で整備し公開しています。山を切り開いたおよそ1800平方メートルには、「プロヴァンスブルー」や「グロッソ」といった5種類、500株のラベンダーがあり、リラックス効果があるとされる独特の香りを漂わせていました。(7/23)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122